



ベルビュー市長より寄稿



リン・ロビンソン市長

花盛りの姉妹都市関係

ベルビューのまわりで桜が咲いており、2018年春に訪れたときの八尾の桜を思い起こさせます。

この度、姉妹都市である八尾市の皆様と、今ベルビューで起きていることを共有できる機会をいただいたことを光栄に思います。

まず、ベルビューは来年3月で市制70周年という節目となる記念日が近づいてきています。私は、皆様が八尾市の市制70周年を祝ったとき、八尾を訪問させていただきました。私と娘アマンドは、大阪城訪問と淀川のポート・ツアーを含む特別な旅の記憶を今も大事にしています。

私たちは新型コロナウイルスのパンデミックを切り抜け、私たちの業務のほとんどは、通常の動きに戻っています。そのため、希望を強く持ちながら、ベルビュー市の市制70周年を祝えることを期待しています。もちろん、完全な回復には、それなりに時間がかかるでしょう。私たちは、お客様をレストランやお店にお迎えできるよう、できることをしています。ベルビューのダウンタウンなどでの建設は、新型コロナウイルスでもほとんど止まらず、そして今や景気づいています。Amazonも当地において、それなりのオフィス規模を構える知名度の高いハイテク企業に加わっています。

しかし、経済成功は、我々ベルビューが誇るほんの一部です。私たちの芸術活動は、新しいパブリックアートや今年年1回のお祭りとして行われるベルウェザー・アート・エキシビジョン(Bellwether art exhibition)とともに成長し続けています。市民に愛されているベルビュー青年劇場は、有観客パフォーマンスを再開しています。

裏面に続く

